

全固体電池学術共同研究拠点

第17回 全固体電池研究セミナー

水系準固体リチウムイオン電池における 3次元界面設計とその可能性

開催日 2026年

6月5日(金)

15:00~16:30

受付開始14:30~



講師 白鳥 洋介 先生

(東京科学大学 総合研究院

ゼロカーボンエネルギー研究所 特任教授)

リチウムイオン電池の利用拡大に伴い、安全性の確保、製造コストの低減、資源循環への対応が重要な課題となっている。特に全固体電池は高い安全性が期待される一方で、製造プロセスや界面設計の観点でさらなる検討が求められている。本講演では、水とセラミックの相互作用に基づく電解質概念「3D-SLISE (3D Slime Interface Quasi-Solid Electrolyte)」を紹介する。本系では、ホウ酸リチウム、水、リチウム塩、セルロースからなる三次元界面構造により、イオン伝導性と電気化学的安定性を両立させる。さらに、空気中での製造や電解液注入工程の不要化に加え、水系プロセスによる電極材料の直接リサイクルといった特徴についても議論する。

主催：大阪公立大学全固体電池研究所

共催：粉体工学会電池製造プロセスに関するワークショップ

後援：CNコアリション推進室イノベーションWG

申込締切 2026年6月4日(木)

参加申込フォーム

<https://forms.gle/8iYjSxzuSI43Hhvx5>



参加無料

Zoomによる
ハイブリッド開催

Zoom

ミーティングID 978 936 7857 パスワード 128161

会場 大阪公立大学 中百舌鳥キャンパス
A 12棟

最寄り駅：南海高野線「白鷺駅」徒歩約7分
南海高野線「中百舌鳥駅」徒歩約13分 他



お問い合わせ

大阪公立大学 全固体電池研究拠点
(学術共同研究拠点事務局)

Mail: gr-knky-assb@omu.ac.jp Tel:072-254-8327



大阪公立大学
Osaka Metropolitan University